大和三名園「慈光院」と、小泉城の歴史探索

大和三名園として知られる慈光院。茶室や書院は、国の『重要文化財』に指定され、庭園は国指定名勝になっている。そのルーツである小泉城とその周辺を、タイムトリップ！

慈光院

2,022円の旅ルール

その１：所持金は2,022円（交通費込み）
その２：出発は近鉄・JR奈良駅、近鉄大和八木駅のいずれか
その３：車での移動は×（ただし公共交通機関は○）

yomiっこ編集部員が旅人になってテーマに沿った小旅行を提案します。もっと気軽に手軽に、を考えた「ふらりどこかへ行きたくなる」あの気持ちを２０２２円以内に収めました。封筒の中には旅のルールと２０２２円だけ…あなたはどう使う？

大和三名園とは…

今回の旅
- 當麻寺中之坊の「香藕園（こうぐうえん）」
- 吉野山の「竹林院群芳園（ちくりんいんぐんぽうえん）」
- 慈光院

① 楠（くすのき）地蔵と一本松大明神

START
JR奈良駅
JR大和小泉駅
運賃 180円 残金 1,842円

「南無阿弥陀仏」と書かれた石碑。古木の年輪のような模様が、まるでクスノキの化石に見えることから「楠地蔵」と呼ばれる。富雄川の下流から逆流して流れ着いた、と言い伝えられる。

昔はここに一本松があったそう。この一本松の上に「砂かけ坊主」がいると言われ、子どもたちが怖がった。あの「砂かけばばあ」は実は奈良の妖怪で、県内各地に砂かけ伝説が残っている。

楠地蔵

5分

7分

② 小泉城趾

南北朝時代、小泉氏によって築かれた城。江戸時代には、豊臣秀吉や徳川家康に使えた片桐貞隆が小泉藩初代藩主となり、12代続いた。現在は石段の上に石碑が建てられ、近くの雞冠井（けかない）池やお庭池はお堀の名残。

8分

③ 小泉神社

賽銭 30円 残金 1,812円

室町時代に小泉氏によって建てられたといわれる。正面の拝殿奥にある塀に囲まれた本殿は、国の重要文化財に指定。立派な鳥居をくぐり石段を登ると、移築された小泉城の城門がある。境内に城門があるのは、全国的にも珍しいとか。

住 大和郡山市小泉町2333
☎ 0743-53-0233 拝 境内自由

移築された城門は、秋祭りの布団太鼓が通れるよう、柱の下に継ぎ石して高くしているよ

石州流茶道を開いた小泉藩主片桐石州は、茶の湯の際にこの水を愛用したそうだ

10分

④ 小白水（こはくすい）

石碑の横にある井戸の中は、砂が敷き詰められていて見ることはできないが、湧き水は今も農業用水などに使われているそう。小白水が湧くから「小泉町」と付けられたとも伝えられている。

石橋源一郎著『校区を歩く』より

⑤ ル・パン・サクレ

こだわりのクリームパン237円

クリームパン 237円 残金 1,575円

大和郡山市の契約農家直送の卵を使用している町内外で人気のパン屋さん。厳選した素材の持ち味を大切にし、総菜ものからハード系まで種類も豊富。パン好きからもおいしいと定評。

住 大和郡山市小泉町2880-1 ウエストスプリング107
☎ 0743-54-0171
時 10：00〜19：00 ※なくなり次第閉店
休 水・木曜

私はカンパーニュが大好き♪

↑年配の方に人気のチョコブレ　183円

2分

⑥ GiGi（ジジ） CAFE&CURRY

オシャレな車が目印、かわいらしい外観のカレー屋さん。車のアートやフィギュアが並ぶ店内では、カレーだけでなくコーヒーやスイーツも。食べておいしい見て楽しい人気店。

住 大和郡山市小泉町2838-3
☎ 0743-85-7677
時 9：00〜15：00 土日祝 8：00〜17：00
休 水曜、第3木曜

散策の日が暑かったので、今回はキャラメルのアイスクリームを。カレーも食べたかった〜

アイス 330円 残金 1,245円

↑キャラメルアイスクリーム　330円

2分

⑦ 西田中瓦窯跡（がようあと）

昭和初期に竹やぶを開墾した際に発見された。1300年以上前の藤原京や、その後の平城京の瓦を焼いた窯の1つだという。

石橋源一郎著『校区を歩く』より

2分

⑧ 臨済宗 大徳寺派　慈光院

小泉藩2代藩主で茶人でもある石州が、父・貞隆の菩提寺として1663年に建立。将軍家の茶道指南役にもなった石州が境内全体を１つの茶席の風情になるように設計し、現在までその演出が残る貴重な寺院だ。

徳川家綱をはじめ、多くの大名が石州の茶の教えを学んでいた！

住 大和郡山市小泉町865
☎ 0743-53-3004
時 9：00〜17：00
¥ 1,000円（お茶・お菓子付）

前日までに予約すると、石州麺がいただけるよ♪

石州麺　1,200円

石州麺とは、
片桐石州が考案した、平らで素麺のような麺。油を使わず、国産の本葛と小麦粉を使い、つるっとしながらも程よいコシがある。

書院

拝観料＋賽銭 1,000円＋30円 残金 215円

10分

⑨ 親子塚

この話は有名だったらしく、江戸時代に小説にもなったって！

江戸時代初期、大阪・高槻藩で養父母に育てられた若侍が、殺害された養父の仇（かたき）を探して小泉に。偶然この地で実の父親をみつけたが、この実父こそ養父の仇だった。結局2人は自害してしまったが、哀れんで大正時代に建てられたのがこの親子塚の碑だ。

5分

⑨の親子塚の、実の親子が出合ったのがこの庚申堂の前なんだって〜

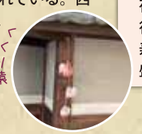
賽銭 30円 残金 185円

⑩ 小泉庚申堂（こうしんどう）
天台宗 尭然山金輪院（ぎょうねんざんこんりんいん）

「小泉庚申堂」の名前で親しまれている寺院。門前に「一國一宇庚申」と書かれ、大和の「庚申さん」の総本山だという。使いとされる猿はいたずら者だったので、「くくり猿」として民家の軒先に吊るされている。西門は小泉城から移築されたもの。

住 大和郡山市小泉町834
拝 境内自由

西門（小泉城から移築）


くくり猿

庚申とは、
中国の道教に由来し、60日ごとの庚申（かのえさる）の日の夜中に、人の体の中の3匹の虫がその人の悪行を天に告げ口するという。告げ口されると寿命が短くなるので、寝ずに神々を祭り、酒盛りをして夜を明かすのだそう。

運賃 180円 残金 5円
JR大和小泉駅 ＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋ JR奈良駅
GOAL
募金 5円 残金 0円

旅を終えて

地元大和郡山市を散策するにあたり、調べれば調べるほど知らないことがたくさん！　この地区の片桐中学校元校長、石橋源一郎先生著『校区を歩く』を参考にさせていただきました。慈光院では園庭を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごせて楽しい旅になったなぁ〜♪

2022YEN Map

歩行距離 約6km